

きせいじどうしゃどう みやま きいながしま  
**紀勢自動車道（海山IC～紀伊長島IC間）**  
**が平成26年3月30日（日）に開通**  
～ つながる「命・絆・元気の道」～

◆概要

きせいじどうしゃどう みやま きいながしま  
紀勢自動車道（海山IC～紀伊長島IC間）延長15.1kmの開通日が決定しましたのでお知らせします。

今回の開通により紀勢自動車道は勢和多気JCTから尾鷲北IC 延長55.3kmが完成します。

くまのおわせどうろ みきさと くまのおおとまり  
昨年9月に熊野尾鷲道路（三木里IC～熊野大泊IC）が開通しましたが今回の紀勢自動車道（尾鷲北IC～勢和多気JCT間）の開通により、さらに「命・絆・元気の道」がつながることになります。

くまのおわせどうろ おわせせしかたちょう  
なお、昨年9月に開通した熊野尾鷲道路の賀田IC（三重県尾鷲市賀田町）において、未開通であった熊野方向の出入路についても同日開通いたします。

○開通日：**平成26年3月30日（日）** 開通時間など、詳細は後日お知らせいたします。

○開通区間：海山IC（三重県北牟婁郡紀北町海山区船津）  
～紀伊長島IC（三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島）

○開通延長：15.1km

【開通により期待される整備効果】

- ・国道42号の代替路として**災害時等における確実な移動が確保**
- ・高速道路が、**津波から逃れる場所として活用可能**
- ・高台に位置する高速道路は、**孤立した地域への物資搬送や救援活動に寄与**
- ・日帰り観光圏域人口（約90万人→約680万人）が拡大することで、**来訪者の増加が期待**
- ・高速道路の開通と熊野古道世界遺産登録10周年が相まって、**さらなる集客増が期待**

◆資料 紀勢自動車道の概要・・・・・・・・資料1  
開通により期待される整備効果・・・・・・・・資料2  
熊野尾鷲道路（賀田IC）の通行方法・・資料3

◆配布先 中部地方整備局記者クラブ、三重県政記者クラブ、県政第二記者クラブ  
尾鷲記者クラブ、熊野市政記者会

◆問合せ先 国土交通省 中部地方整備局 紀勢国道事務所

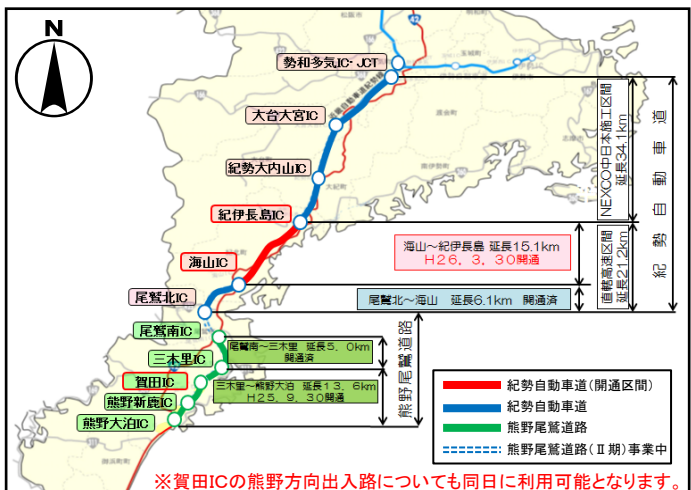
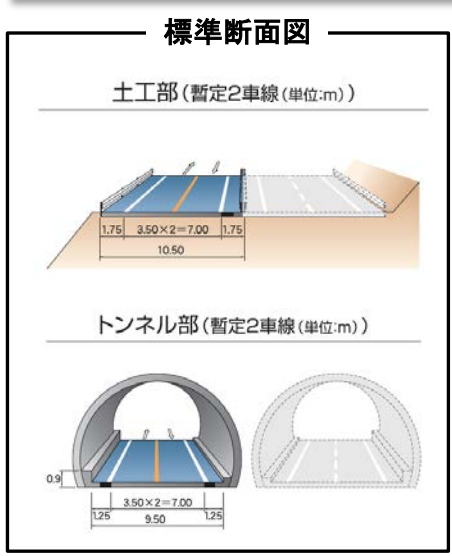
副所長 積木 優

TEL 0598-52-5363/FAX 0598-52-5681  
(URL <http://www.cbr.mlit.go.jp/kisei/>)

# 紀勢自動車道の概要

・紀勢自動車道は尾鷲北IC～勢和多気JCTへ至る延長55.3kmの高速自動車国道であり、紀伊長島IC～勢和多気JCT間の34.1kmをNEXCO中日本が事業を行い、尾鷲北IC～紀伊長島IC間の21.2kmを国土交通省が事業を進めています。

・国道42号は東紀州地域の生命線であるものの、過去に何度も災害により通行止めとなっており、紀勢自動車道の開通は、地域産業の活性化や救急医療の支援だけでなく、広域ネットワークの構築や災害に強い道路機能の確保においても期待されています。



- ### 事業経緯
- 平成18年3月  
おみやおおい せいわたき  
大宮大台IC～勢和多気JCT(13.4km) 開通
  - 平成21年2月  
きせいおうちやま おみやおおい  
紀勢大内山IC～大宮大台IC(10.4km) 開通
  - 平成24年3月  
おわせきた みやま  
尾鷲北IC～海山IC(6.1km) 開通
  - 平成25年3月  
きいながしま きせいおうちやま  
紀伊長島IC～紀勢大内山IC(10.3km) 開通
  - 平成26年3月  
みやま きいながしま  
海山IC～紀伊長島IC(15.1km) 開通

※開通に向けて、順次工事を進めています。

紀伊長島IC 至海山IC

至紀勢大内山IC

平成25年12月末現在

命の道

紀勢自動車道  
熊野尾鷲道路  
命・絆・元気の道

# 災害時の避難・移動も 高速道路で安全・確実に

地域唯一の幹線道路である国道42号は台風被害等により、過去にも度々通行止めになっています。紀勢自動車道・熊野尾鷲道路の開通により、災害時の確実な移動が確保されます。

平成25年11月岩盤崩落



約23日間通行止め

平成23年台風12号災害



約45時間通行止め

- 国道42号
- 高速道路
- ⊗ 被災箇所



平成16年台風21号災害



約77時間通行止め

命の道

紀勢自動車道  
熊野尾鷲道路  
命・絆・元気の道

# 津波から逃れる場所 として使えるように

大規模地震による津波被害への備えとして、高台に位置する高速道路への避難施設を整備。紀勢自動車道・熊野尾鷲道路に、全部で14カ所の緊急避難施設が整備されます。



○—○ 高速道路

■ 市町村別ケース別津波浸水域 (満潮時・地殻変動考慮)  
出典: 南海トラフの巨大地震モデル検討会 (第2次報告) H24.8.29



⑥. 紀伊長島区三浦 (新道瀬トンネル尾鷲側坑口)



⑦. 海山区船津 (前柱地区)

市町名	番号	地区名	路線名
北牟婁郡 紀北町	1	紀伊長島区寛長島 (紀伊長島IC)	紀勢 自動車道
	2	紀伊長島区寛長島 (紀伊長島IC)	
	3	紀伊長島区長島 (紀伊長島トンネル紀北側坑口)	
	4	紀伊長島区加田 (紀伊長島トンネル尾鷲側坑口)	
	5	紀伊長島区古里 (古里第2トンネル尾鷲側坑口)	
	6	紀伊長島区三浦 (新道瀬トンネル尾鷲側坑口)	
	7	海山区船津 (前柱地区)	
尾鷲市	8	海山区船津 (高丸山トンネル坑口)	
	9	海山区便ノ山 (鏡子川明かり部)	
	10	尾鷲市坂橋西町 (尾鷲北IC)	
熊野市	11	尾鷲市賀田町 (賀田IC)	熊野尾鷲道路
	12	熊野市新鹿町 (新鹿奥地区)	
	13	熊野市新鹿町 (新鹿IC)	
	14	熊野市大泊町 (熊野大泊IC)	

避難施設整備箇所一覧表 (予定)

命の道

紀勢自動車道  
熊野尾鷲道路  
命・絆・元気の道

# 迅速な救命・

# 救援活動を支えます

想定される、大規模地震による津波では、国道42号の大部分が浸水し地域が孤立する恐れがあります。高台に位置する紀勢自動車道・熊野尾鷲道路は、孤立した地域への物資輸送や救援活動など「救援・救助のみち」として機能します。



○—○ 高速道路  
■ 市町村別ケース別津波浸水域 (満潮時・地殻変動考慮)  
出典：南海トラフの巨大地震モデル検討会 (第2次報告) H24.8.29

## 救援・救助イメージ



関係機関や地域自治体と協力し、高速道路を軸とした、孤立地域への救援・救助ルート確保を行うため、道路啓開計画などの防災戦略の確立を進めます。

## 南海トラフ巨大地震対策中部ブロック協議会広域連携防災訓練 (平成25年9月1日実施)の様子



道路啓開訓練 (熊野大泊IC)



緊急車両陸揚訓練 (七里御浜海岸)

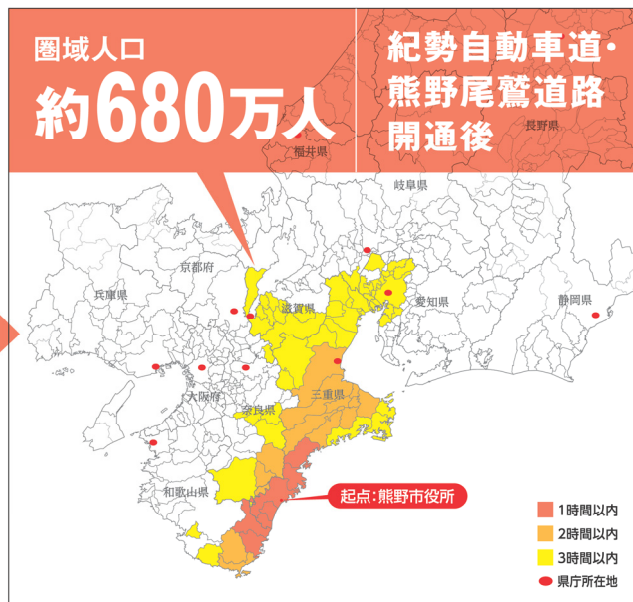
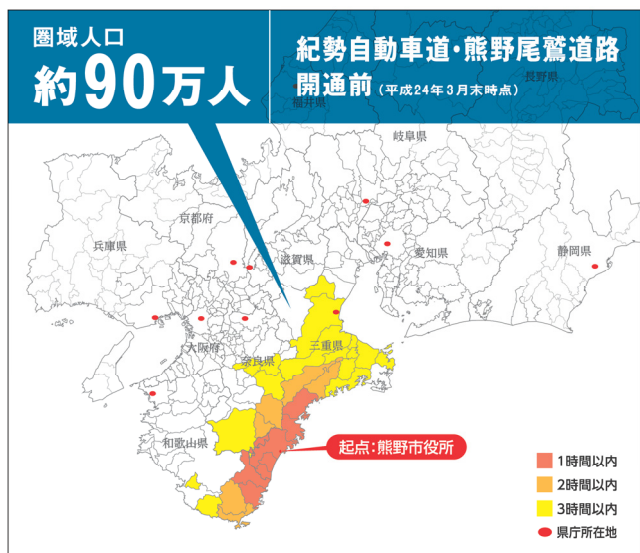


仮設橋組立訓練 (七里御浜海岸)

# 名古屋から日帰りで にぎわい創出へ

紀勢自動車道（海山IC～紀伊長島IC）、熊野尾鷲道路（三木里IC～熊野大泊IC）の開通により、日帰り観光圏域（3時間圏域）が拡大します。

名古屋市から東紀州地域（熊野市）まで、片道3時間以内での移動が可能となり来訪者の増加が期待されます。



出典：人口データは、「平成22年度国勢調査」を基に算出

名古屋からの日帰りでの熊野三山巡りが可能になり、日帰り観光地としての魅力が大きく拡大します。  
（三重県観光振興部局の担当者の声）

東海地方からの来訪者は、マイカーで移動することが多いため、高速道路開通により増加を期待しています  
（旅行者の声）



高速道路が開通することで、地域の観光地を巡る周遊プランの利用拡大に大いに期待しています。「何度も来たいけど、時間がかかるから…」との声が多かったので、今後のリピーター拡大に期待をしています。  
（旅行者の声）

元気の道

紀勢自動車道  
熊野尾鷲道路  
命・絆・元気の道

# 2014 熊野古道 世界遺産登録10周年

熊野古道が「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産登録されてから今年で10周年。世界遺産登録以降、古道来訪者は年々増加し、平成23年には25万人を記録しています。三重県や各自治体は、様々な催しを企画しており、紀勢自動車道・熊野尾鷲道路の開通と相まって、さらなる集客が期待されています。



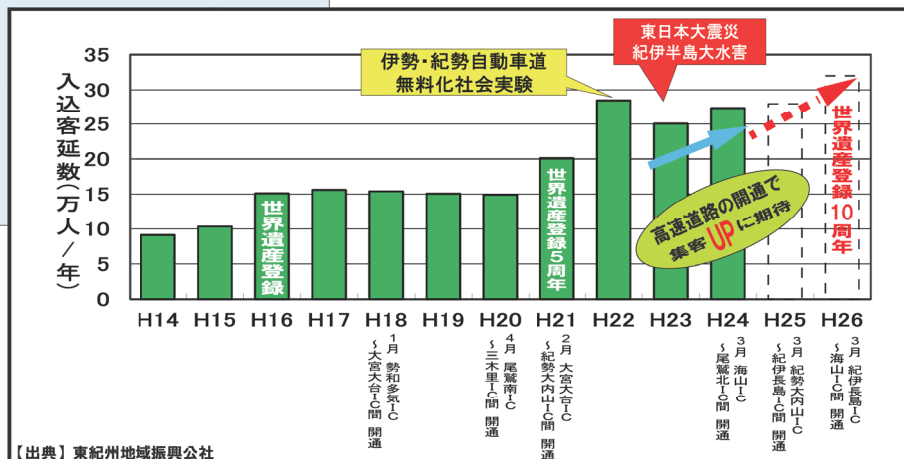
① まごせ 馬越峠



② やきやま 八鬼山越え



③ にししま おうかみざか 二木島・逢神坂峠



【出典】 東紀州地域振興公社

# 熊野尾鷲道路（賀田IC）の通行方法

資料3

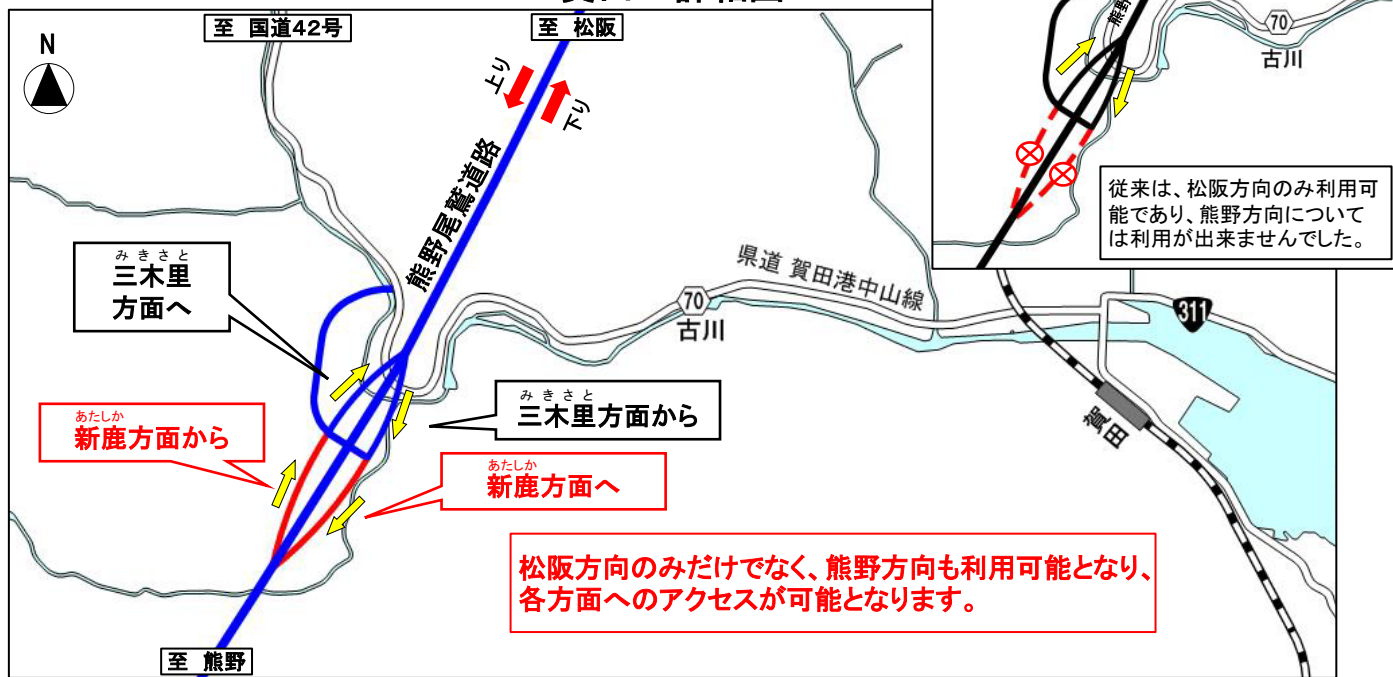
## 広域図



## 位置図



## 賀田IC詳細図



※賀田ICを利用した各方面へのアクセスが可能となりますが、新たに上り車線における合流車線の発生など、車の流れが従来と異なるため通行には十分注意して下さい。

## 現在の状況



※熊野方向の開通に向けて、順次、工事を進めています。

平成25年1月末現在